

戦略3 次世代に向けた住みよいえべつづくり

計画期間 平成26年度～平成30年度

主管部局 健康福祉部・建設部 関係部局 企画政策部、教育部

めざす姿

- 子どもを産み育てたいと思えるまち、子育て後も安心して暮らせるまちをめざします。
- 駅周辺の利便性を向上させるとともに、駅を中心とした拠点とその他の地区とネットワークを充実させ、すべての市民が快適に暮らせるまちをめざします。

戦略を構成するプロジェクト事業費の推移

名称	予算額						
	H26年度	H27年度			H28年度		
		当初	H26補正	計			
3 A 社会全体で子どもを産み育てる環境づくり	114,982 千円	830,789	0	830,789 千円			千円
3 B 駅を中心とした暮らしやすいまちづくり (えべつ版コンパクトなまちづくり)	1,292,165 千円	1,110,180	18,338	1,128,518 千円			千円
計	1,407,147 千円	1,940,969	18,338	1,959,307 千円			千円

戦略プロジェクト3 A 社会全体で子どもを産み育てる環境づくり

【プロジェクトの目標】

子どもを産み育てる環境を充実させるとともに、多世代が関わり合いながら、社会全体で子育てをサポートする環境をつくることで、「子育てしながら働きやすいまち」「子どもを産み育てやすいまち」をめざし、子育て世代の定住促進に取り組んでいきます。

◆成果指標3 A-1 子育て環境が充実していると思う市民割合（単位：％）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標
49.2						60.0

◆成果指標3 A-2 江別市で子どもを産み育てたいと考えて転入してきた子育て世代（20～40代）の割合（単位：％）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標
5.7						8.0

<27年度の方針>

戦略プロジェクト3 A「社会全体で子どもを産み育てる環境づくり」は、子ども・子育て支援制度の開始年にあたり、子育て応援のまちの実現をめざし、子育て環境の充実、子育て世代の定住促進を図る事業を展開していく。

◆推進プログラム①「子どもを安心して産み育てられる支援体制の整備」では、保育園の待機児童を解消するため、小規模保育事業の実施や公立保育園の整備による定員増を図る。

◆推進プログラム②「子育て世代が定住したくなる住環境の整備と教育内容の充実」では、「小中学校学習サポート事業」を継続するとともに、「小学校外国語活動支援事業」として、市独自で全小学校の1・2年生に拡大して外国語活動を実施する。また、「児童生徒体力向上事業」として、大学との連携により、新たに「走り方」教室を実施する。

◆推進プログラム③「多世代が交流する子どもの遊び場の充実」では、平成26年度市内全域を網羅して展開するに至った「あそびのひろば事業」は、要望が多い開催日数増加を目指しその充実を図る。また、開設から1年間で延べ10万人超の利用があった「ぽこあぼこ」（子育てひろば事業）は、親子の遊び場、研修、企業連携等の場として更に機能の充実に努める。

◇推進プログラム3 A-① 子どもを安心して産み育てられる支援体制の整備

<課題>

- 年度途中からでも待機することなく保育園に入園できる体制の整備
- 多様な保育（子育て支援）ニーズへの対応

<取組の概要>

- ・待機児童解消の推進（子ども・子育て支援事業計画に基づく保育体制の整備）
- ・市立保育園の整備と運営等に関する計画推進（若草乳児保育園と白樺保育園統合園の建設）

事務事業	指 標	H26年度(予算)	H27年度(予算)	H28年度	備 考
待機児童解消対策事業	待機が解消された児童数	30 人	99 人	人	
	事業費	17,550 千円	113,109 千円	千円	
白樺・若草乳児統合園建設整備事業	入所児童数	120 人	140 人	人	
	入所率	100 %	100 %	%	
	事業費	36,500 千円	657,459 千円	千円	

◇推進プログラム3 A-② 子育て世代が定住したくなる住環境の整備と教育内容の充実

<課題>

- 学力の向上
- 外国語活動の低年齢化への対応
- スポーツに親しむ環境の整備
- 市営住宅全団地に子育て世帯優先枠を拡充

<取組の概要>

- ・全ての中学校で放課後の補足的学習を実施
- ・小学校4年生以下へ外国語活動を拡大
- ・大学による出前講座など、体力向上を支援
- ・各団地の子育て世帯の入居を優先

事務事業	指 標	H26年度(予算)	H27年度(予算)	H28年度	備 考
小中学校学習サポート事業	学習サポート教員の年間派遣人数	39 人	36 人	人	
	事業費	9,317 千円	9,341 千円	千円	
児童生徒体力向上事業	児童生徒で体力が向上した割合	70 %	70 %	%	
	事業費	636 千円	636 千円	千円	
小学校外国語活動支援事業	小学校英語の総授業時数のうち、外国語指導助手が授業に入った割合	100 %	100 %	%	
	事業費	20,900 千円	21,296 千円	千円	

◇推進プログラム3 A-③ 多世代が交流する子どもの遊び場の充実

<課題>

- 天候に左右されずに遊べる場所と交流事業の展開
- 地域で歩いて行ける範囲でのひろば事業の空白地域の解消
- ひろば事業とサロン事業の整理
- 多世代交流の場の創出

<取組の概要>

- ・親子安心育成事業子育てひろばでのソフト事業の展開
- ・あそびのひろば事業の拡充や、ボランティアの育成など、さまざまな運営主体への支援の検討
- ・子育てひろばでの情報提供、交流事業
- ・高齢者施設開設ひろばでの交流事業

事務事業	指 標	H26年度(予算)	H27年度(予算)	H28年度	備 考
親子安心育成支援事業（子育てひろば事業）	ひろば延利用者数	80 千人	80 千人	千人	
	託児延利用者数	900 人	900 人	人	
	事業費	27,194 千円	26,014 千円	千円	
あそびのひろば事業	子育てひろば及びサロン参加組数	1,800 組	1,800 組	組	
	事業費	2,885 千円	2,934 千円	千円	

【プロジェクトの目標】

江別市のまちの特性に合わせた駅周辺の活性化を進め、魅力ある住みよいまちを実現するとともに、様々なライフスタイルに対応するため、駅周辺の利便性を向上させることで、誰もが暮らしやすいまちづくりに取り組んでいきます。

◆成果指標3B-1 駅周辺の利便性が高いと思う市民割合（単位：％）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標
65.7						74.0

◆成果指標3B-2 江別市が暮らしやすいと思う市民割合（単位：％）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標
74.3						78.0

<27年度の方針>

戦略プロジェクト3B「駅を中心とした暮らしやすいまちづくり（えべつ版コンパクトなまちづくり）」は、今後も野幌駅周辺の基盤整備を進めるとともに、バス路線の見直しや大麻地区におけるライフステージに合わせた住みかえ支援など利便性向上のための取り組みを進めなければならない状況であることから、引き続き各事業を展開していく。

- ◆推進プログラム①「様々なライフスタイルに対応した駅周辺の利便性の向上」では、引き続き江別の顔づくり事業（野幌駅周辺土地区画整理事業）を着実に推進することにより、駅周辺における利便性の向上を図る。
- ◆推進プログラム②「交通ネットワークの充実」では、駅を中心としたバス路線の再構築の検討に向けて、地域公共交通会議を拡充するとともに、バス実証運行を行い、公共交通の最適化を図る。
- ◆推進プログラム③「高齢者等がいいききと活動しやすい居住環境の充実」では、大麻地区での住みかえ相談窓口の運営やニュースレターによる情報発信などを行うとともに、自主的な運営に向けた組織づくりの検討を進める。

◇推進プログラム3B-① 様々なライフスタイルに対応した駅周辺の利便性の向上

<課題>

- 顔づくり事業の着実な推進
- 各駅周辺の利便性の向上

<取組の概要>

- ・野幌駅周辺の土地利用の増進
- ・駅周辺の快適性、利便性の向上
- ・バリアフリー化の推進

事務事業	指標	H26年度(予算)	H27年度(予算)	H28年度	備考
江別の顔づくり事業（野幌駅周辺土地区画整理事業）	事業進捗率(累計)	73%	86%	%	
	事業費	1,284,544千円	1,108,442千円	千円	

◇推進プログラム3B-② 交通ネットワークの充実

<課題>

- バス利用者の減少によるバス交通の減便対策
- 南北間の交通ネットワーク構築
- バスに関する情報提供の工夫

<取組の概要>

- ・駅を中心としたバス路線見直しに向けた調査と実証運行を実施
（平成28年度以降は、バス会社による運行を目指す）
- ・バス路線マップを随時見直しとバス利用の啓発を継続

事務事業	指標	H26年度(予算)	H27年度(予算)	H28年度	備考
公共交通利用促進対策事業	バス輸送人員	548千人	548千人	千人	H27事業費はH26補正前倒し
	事業費	3,287千円	0千円	千円	18,338千円

◇推進プログラム3B-③ 高齢者等がいいききと活動しやすい居住環境の充実

<課題>

- 高齢者の住みかえニーズの把握
- 高齢者の住みかえ先の確保
- 市内既存の高齢者向住宅に係る実態把握
- 建設事業者の意向把握、誘導、指導

<取組の概要>

- ・大麻地区に住み替え相談窓口を開設するとともに、交流農園・寺子屋などのソフト事業を実施
- ・実態調査と事業者の把握、高齢者総合計画での展開
- ・ニーズと事業者のマッチング事業の研究

事務事業	指標	H26年度(予算)	H27年度(予算)	H28年度	備考
大麻地区住環境活性化事業	大麻地区の人口	28,652人	28,801人	人	
	事業費	4,334千円	1,738千円	千円	